

起案用紙

三三三

大本
副臨入第
五六一號第三

十月二十日

總長

次長

參謀

主任



明治 年 月 日

局長
ヨリ 第三号 兵部省
外兵女将橋岡君其方ノ件ニ付テ
ハ 御座ルニ付テ 御座ル
事 御座ル
カ

大本營

0634

陸軍

滿人往第七六〇號

陸軍副監入第五〇〇號第二

十月十八日

陸軍部

認書

印

回谷

明治三十七年十月十八日

陸軍次官石本新六

大本營陸軍參謀次長長岡外史殿

副臨入第五六六號第一ヲ以テ歩兵少佐橋
周太進級ノ件ニ對シ御照會ノ趣一應了
承右ハ遼陽附近戰鬪ノ當時同方面ニ
於テ戰死シタル將校ノ内ニ於テ進級稟申ナ

0635

カリシモノ第二軍第三師團中ニモ数名有之
 橋少佐ハ第三師團大隊長ノ一人ニシテ畢竟
 其當時ハ軍ニ於テモ進級ノ必要ヲ認メラレ
 ザリシモノカト被察候然ルニ今日軍ニ於テ
 特ニ進級ノ必要ヲ認メラレタルモノトスレハ當時
 稟申セラレザリシ理由ヲ具シ更メテ稟申
 有之可然但シ果シテ稟申ノ通り進級セ
 シメテルベキヤ否ヤハ今ヨリ確言致シ難ク候得
 共本職ノ意見ノミ及御回答候也

0636

秘

起案用紙

大本 陸軍 副監 第五十号 第一

總長

次長

參謀

主任

十五

1011
6.40

明治 年 月 日

令長 署長 令長

爲要し、
令長、中出、
令長、
令長、
令長、

五十五

大本 營

0637

電報

十月十五日午後

一時四十分
三時三十分

長岡次長宛

板橋堡

大迫少将

落合少将より直接貴官へ御話シタル通り歩兵
 少佐橋周太ノ功績ハ所謂拔群中ノ拔群
 ナル者ニ付テ候令時日ノ遅延セルモ軍司
 令官より詳細ナル状況ヲ具シテ稟申セラル、
 片々今日ノ於テモ充分進級セシメ得ルノ
 餘地アリヤ至急返待ソ

大本營

0638